

報告 1

「2012 年日中経済協力会議—於黒龍江」に参加

「2012 年日中経済協力会議—於黒龍江」が 8 月 1 日から 3 日まで黒龍江省のハルビン市において開催されました。12 回目となる本会議は 2000 年から始まり、中国東北 3 省 1 自治区と日本及び中国の中央政府、東北地方等地方自治体、企業、経済団体や研究機関など幅広い分野の関係者が参加しました。双方向での日中経済協力について議論するほか、新材料・省エネ環境、現代サービス・文化産業などの各分野について実務に即した企業間交流を進展させることを目指している会議です。

新潟からは泉田裕彦県知事が団長を務め、塚田桂祐副市長を副団長とする中国訪問団一行がハルビンを訪れ、会議に参加しました。

日中経済協力会議の「绿色食品・緑色農業」をテーマにした分科会では塚田副市長が市の概要のほか、新潟の農業・食品・花・観光などについて発表しました。また、ハルビン市との交流については友好都市提携以来、医学・教育・環境・文化など色々な分野での交流について参加者に紹介しました。

最終日、塚田副市長一行は、ハルビン市内の友好都市会館や新潟の萬代橋がそのまま再現されている太陽島公園内の友誼園、開発区などを視察しました。その後、塚田副市長はハルビン市曲磊(きょくらい)副市長を表敬訪問し、新潟市とハルビン市との経済・観光など様々な分野での更なる交流の発展を期待することで共通の認識を得ました。塚田副市長はより多くのハルビン市民が新潟に来てほしいと伝えました。(李)



分科会で発表する塚田副市長



日中経済協力会議の会場



ハルビン市曲副市长と記念品交換

報告 2

第 31 回ハルビンの夏音楽会に「新潟下駄総踊り」が参加
躍動感あふれる踊り・演奏を披露

8月6日から15日まで、新潟市の友好都市ハルビン市（黒龍江省）で「第31回ハルビンの夏音楽会」が盛大に開催されました。ハルビンは「文化・音楽の都」として各種文化イベントの開催に力を入れており、この音楽会もそのイベントの一つ。世界各国から約4000人も音楽団体・関係者が参加し、異国情緒あふれる国際都市ハルビンが歌と踊りと音楽一色に包まれました。今回、新潟市もハルビン市政府から招待を受け、新潟-ハルビン航空路線利用促進事業の一環としてハルビンで新潟の魅力をPRするために、「新潟下駄総踊り」の一団と共に同イベントに参加しました。

初日はハルビン市少年宮で開催された「アジア舞踊専門特別上演会」で、万代太鼓、笛、新潟樽砵の勇壮な伴奏のもと、「新潟下駄総踊り」が躍動感あふれる踊りを披露。2日目はハルビンの観光名所である中央大街で行われたパレードに参加、約1.5kmの通りを練り歩き、多くのハルビン市民の目を楽しませました。そして最終日はハルビン市の「ライラック芸術団」を訪問し、双方とも10代～20代の青少年を中心とし、言葉は通じないものの、踊りや楽器を互いに教え合うことですぐに打ち解けることができました。

中国が経済発展している中、日中交流の中でも特に経済分野に注目が集まりがちですが、今回のようにお互いの文化を理解し、尊重し合う文化交流や青少年交流が非常に重要であることを改めて認識しました。今回のイベントを通して、多くのハルビン市民が新潟の魅力を理解してくれたことと思います。（笠原）

↓ 躍動感あふれる踊り



↓ 中央大街でのパレード





万代太鼓の打ち方を教わる
「ライラック芸術団」の団員



「ライラック芸術団」と交流。一緒に踊る

報告 3

新潟県チーム 第5回日中友好都市中学生卓球交歓大会に参加

日中両国の友好協会及び卓球協会が主催する、日中国交正常化40周年記念・日中友好交流都市中学生卓球交歓大会が、8月17日から19日まで北京にある中国オリンピックセンター体育館で開催されました。8月17日には開幕式と練習。18日には予選リーグ戦、19日には決勝トーナメントが行われました。

この大会の前身は1990年に日中友好協会創立40周年を記念して開催された「日中友好都市卓球カーニバル」です。1992年に日中国交正常化20周年を記念して第1回目の交歓大会が開催され、以後5年ごとに実施されています。

今大会には日中両国からそれぞれ83チーム（日本側35都道府県、中国側4市、21省・自治区）が参加、1チームから日中双方それぞれ男子選手1名、女子選手1名を出し、計4名からなります。83チームは5つのブロック、23グループに分けられ団体戦を行い、グループ第1位と第2位が決勝戦に出るといった競技方法。

18日、新潟県―黒龍江省チームはBグループで河北省―鳥取県チーム、福建省―長崎県チーム、甘肅省―秋田県チームと対戦し、2:3、1:4、5:0と一勝二敗の成績でグループ第3位になり、決勝戦に出れませんでした。しかし、県と黒龍江省の選手たちは試合を通じて互いに卓球の技を磨きながら友情を深めました。また、新潟県佐渡市も選手を出し、陝西省洋県とチームを組んで今大会に参加しました。

20日に、参加者全員は北京郊外にある居庸関長城へ観光し、夜、普段一般市民がめったに入れない人民大会堂（日本の国会議事堂に相当する）で行われた閉幕式に出席して、新潟県―黒龍江省チームは参加記念賞をもらいました。今回の体験は双方の選手にとってきっといい思い出になり、両県省の今後の友好交流にもつながっていくと思います。（鞠）



開幕式



河北省-鳥取県チームと対戦中



卓球大会の会場



万里の長城へ観光



閉幕式



新潟県一黒龍江省チームの選手たち

報告 4

中日名家日本風情絵画作品展 開幕式に出席

8月23日、国際画友会及び中国景観造型芸術委員会主催による「中日名家日本風情絵画作品展」開幕式が北京惠爾再旦画院で行われ、当事務所も後援団体として出席しました。

この作品展は日中双方の画家達によって描かれた日本の風景画を展示したもので、今回展示された作品の中には中国人画家によって描かれた新潟佐渡の風景画が多数展示されています。これら佐渡が描かれた作品は、新潟国際芸術学院（新潟市中央区、東富有学院長）が実施している各種国際交流事業を通して佐渡を訪問した中国人著名画家達によって描かれたもの。日中国交正常化40周年にあたる記念すべきこの年に、文化・芸術を通じて新潟佐渡の美しい風景が多くの中京市民の目に触れる事となりました。（笠原）

○中日名家日本風情絵画作品展

会期：2012年8月23日～9月8日

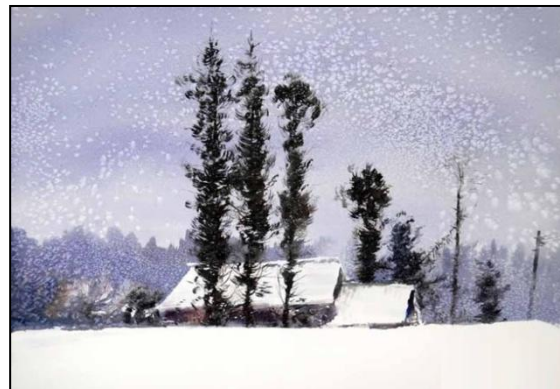
会場：北京惠爾再旦画院（海淀区曙光中路9号北京農科大厦北側）

主催：国際画友会、中国景観造型芸術委員会

共催：北京晨報翰墨名家專刊、北京惠爾再旦画院、瀋陽師範大学美術・設計学院、
新潟国際藝術学院
後援：新潟市北京事務所



当事務所も後援団体として開幕式に出席



雪国：阿滋馬 東

報告 5

「2012 日本商品直送 in 中国」にて新潟と佐渡を PR

中国向け日本製品展示会「2012 日本商品直送 in 中国」が8月24日から26日までの3日間、上海展覽センターで開催されました。トキめき佐渡・にいがた観光圏協議会がこれに参加、来場者に新潟と佐渡の魅力を紹介しました。

会場では観光パンフレットを配布、新潟や佐渡を紹介したり、アンケート調査を行ったりしました。新潟を含む旅行コースを具体的に提示、配布できた点が前回3月と異なるところ。詳しく知りたい人にはブース内の一角で対応、団体旅行ではなく、「自由行(フリープラン)」を希望する人たちにも応えることができました。また、会場では伝統工芸品などを展示、その製造現場を見学できるモデルプランも用意し、新潟をより深く理解できるコースも提案しました。

中国で正式に海外旅行が認められたのは1997年。15年を経た今では、年間7000万人の人々が海外旅行を楽しみ、日本には約141万人が訪れました(2010年)。個人旅行志向が高まる中国での観光PRにも一層の工夫が必要になってきています。

繁華街や地下鉄駅から近い展覽センターには期間中、約3万5千人が訪れ、衣料、化粧品、アクセサリ、装飾品、食品など2万種を超える展示品を手に取り、品定め。この他、教育機関、観光協会などのPRブースがある一方、中国の若者に人気のある日本のアニメ・マンガも大きく紹介されました。全体の出展ブース数は、約200ブースでした。(近藤)



パンフレットを使い新潟を紹介



日本商品を求めて大勢が来場